

令和7年度 研究構想図

学校教育目標

夢と志を抱き、仲間とともに、高め合う生徒の育成
～コミュニケーション能力の育成と深い学びの実現を通して～

研究主題

主体的な学びの創造
～課題発見・解決学習の単元開発および意欲を高める学習課題と発問の工夫を通して～

研究仮説

コアカリキュラムを核としたカリキュラム・マネジメントを意識し、プロジェクト学習の地域展開、学習評価を明確にした課題発見・解決学習を行うことで、生徒一人一人の学びが主体的なものとなり、資質・能力をより良く高めることができるのではないか。

本校で育成を目指す資質・能力

主体性
(自己との関わり)
→好奇心と課題発見力, 自尊心

コミュニケーション能力
(他者・社会との関わり)
→読解力と対話力

日比中スタイルを活用した
探究学習

各教科

道徳教育
(道徳の時間)

特別活動
(学活, 学校行事)

特別活動
(コアカリキュラム)

研究内容① 強い問題意識と達成意欲を抱かせ、コアカリキュラム、全教科・領域が互いに絡んだ課題設定
単元を貫く問い 中心発問 議題の充実 単元を貫く問い

研究内容② 各教科の見方・考え方や活動の目的・ねらいを活かした話し合い活動とねりあい活動
話し合い活動 話し合い活動 話し合い活動 話し合い活動

研究内容③ 本質的な問いを活かした単元開発
本質的な問い 本質的な問い 本質的な問い 本質的な問い

各教科・領域の土台となる言語活動

- ・知的活動（論理や思考）及びコミュニケーションや感性、情緒を育成する活動
- ・各教科で培った言語に関する能力
- ・生徒発表の場（自己表現）
- ・各教科の見方、考え方を生かして
- ・読書活動、ビブリオバトル

学校評価重点目標

- 1 主体的な学びを促す授業づくり（課題発見・解決学習）の更なる深化
 - ・「やってみよう」と思える学習課題の設定と発問
 - ・見通しを持った単元開発【本質的な問い（その教科で目指す姿）】
【評価基準の明確化（その単元で生徒にどんな力をつけさせたいのか）】
 - ・話し合い活動の充実【学校行事・授業（「課題」を教師と生徒ではなく、生徒同士の対話・ねりあいによって解決していく）】
- 2 学校行事を通じた「達成感」と「憧れ感」の醸造【感動・涙・歌声・笑顔あふれる学校行事】
- 3 特別活動の推進（「活動の目的・ねらい」を活かした話し合い活動・「成長の見える化」・学級集団づくりの共有化）
- 4 カリマネを活用した社会に開かれた教育課程（サバプロ）（地域と共に創るプロジェクト型学習・コミュニティスクールの活用）
- 5 地域と創る学校（コミュニティスクールの実働・小中連携・広報活動）（継続）